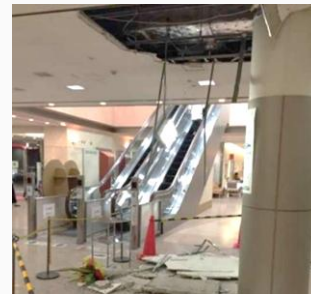


【新庁舎整備事業について】

熊本地震の 教訓と課題

行政機能継続の重要性と
現庁舎が抱えるリスク



熊本地震後の市民病院



熊本地震後の宇土市役所

【出典：熊本災害デジタルアーカイブ/提供者：宇土市】

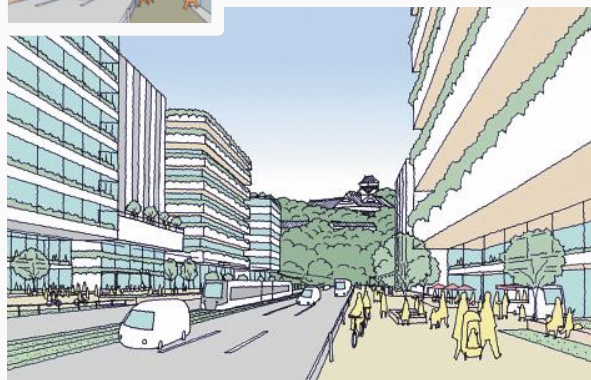
行政の責務

「災害時にも確実に
機能する庁舎」

市民の生命と財産を守るため、
発災直後から機能



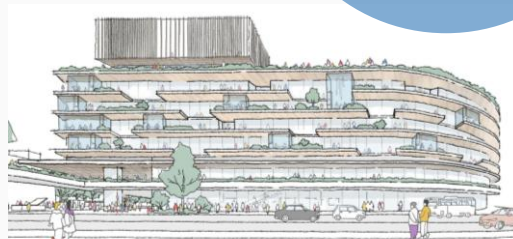
現在のまちなかの姿
(イメージ)



まちなか再生プロジェクトに示す
「目指すまちなかの姿(イメージ)」

「今」整備を 進める意義

早期のリスク解消
財政上有利



新本庁舎・議会のイメージ
(今後変更になる可能性があります)

検証に基づく 適正な整備と まちづくり推進

客観的な検証に基づき 責任ある判断と丁寧な説明を行い
新庁舎整備に取り組む

1 現庁舎が抱えるリスク

現庁舎は災害に対する課題を抱えています

- ✓ 耐震性に課題があり、大地震時に使用できないおそれ
- ✓ 浸水時に主要設備が停止し、機能が維持できないおそれ
- ✓ 大規模災害時に行政機能が停止するリスク



熊本地震前の宇土市役所

出典：熊本災害デジタルアーカイブ
提供者：国立研究開発法人防災科学技術研究所



熊本地震後の市民病院

2 行政の責務

市民の命と暮らしを守るため、
発災直後から行政機能を維持することが必要です



発災直後から行政機能を確実に維持

3 市民の皆様の声

建設費や将来負担に対する
不安や懸念の声をいただいています

建設費は高すぎないか



将来の財政負担は大丈夫か



本当に必要な規模なのか



市民の皆様のお不安やご心配の声を
真摯に受け止めます

4 検証委員会・基本計画検討分科会で確認すること

専門的・客観的な視点から、多角的に検証します



必要な機能

- ・防災拠点として必要な機能
- ・行政サービス機能



適正な規模

- ・庁舎の規模
- ・将来の行政需要も踏まえた検討



事業費の妥当性

- ・概算事業費の妥当性
- ・コスト削減の余地の検証



工期

- ・事業スケジュールの妥当性
- ・工期短縮の可能性



財政への影響

- ・将来の財政負担
- ・財源の妥当性



コスト削減の可能性

- ・民間活力の活用など様々な手法を検討



先送りした場合のリスク

- ・災害リスクの増大
- ・将来コストの増大など



客観的な検証に基づき 責任ある判断を行う

- ・検証結果を分かりやすくお示しし、透明性を確保してまいります。
- ・市民の生命と財産を守る責任と、将来世代への財政責任との両立を図るため、本市として責任ある判断を行ってまいります。

